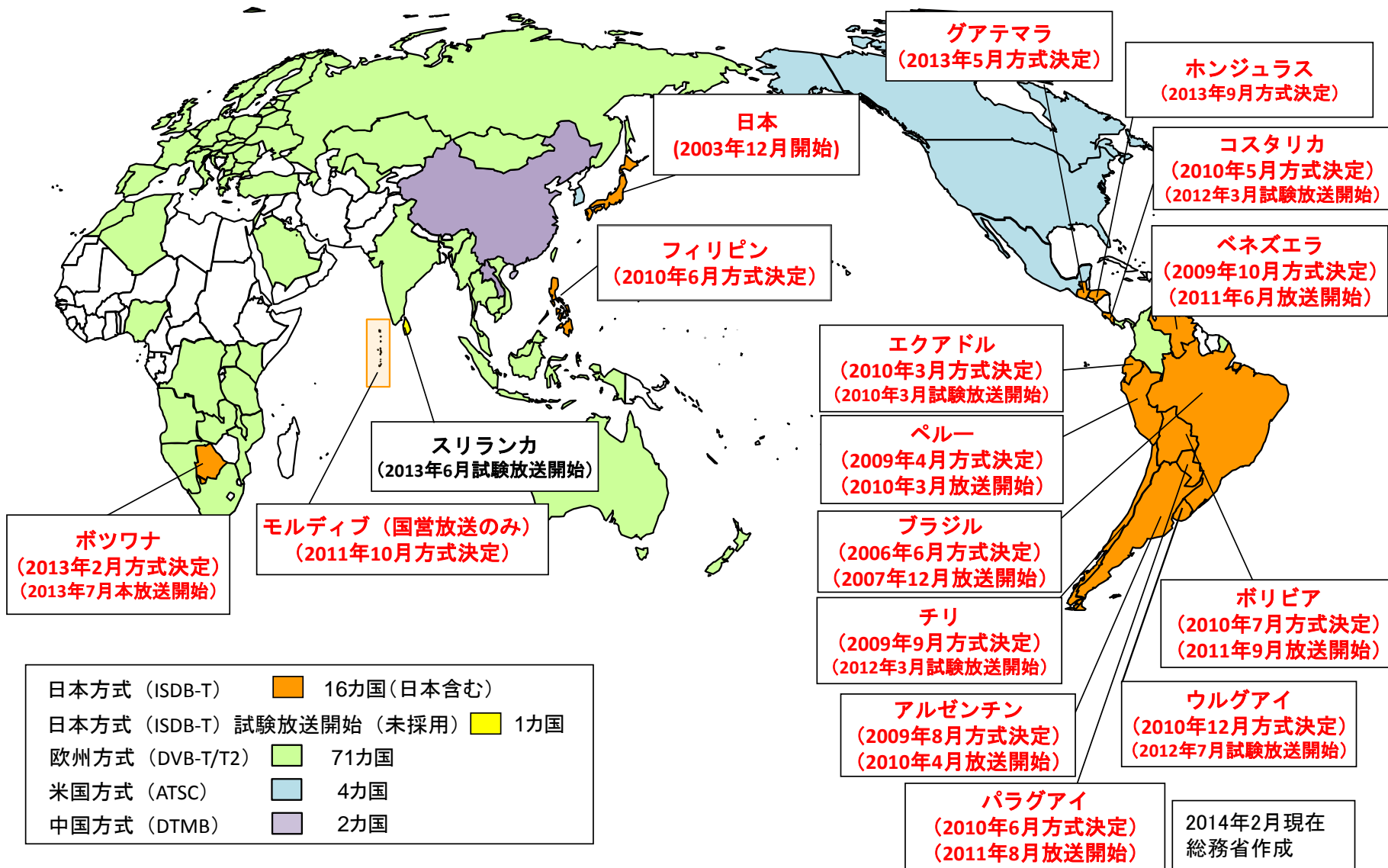


第一回日伯ICTラウンドテーブル へ向けて



総務省
情報通信国際戦略局
国際経済課
高地圭輔

地デジ日本方式の展開状況



地デジからICTへ

成功モデル

今後の展開

地デジ日本方式 の国際展開

(2006) 日本方式
採用1カ国
1.2億人

➔

(2013) 日本方式
採用**16カ国**
6.1億人

【技術の強み】

ワンセグ
緊急警報放送
データ放送

+

【国のサポート】

技術支援パッケージ
(専門家派遣・研修)

地デジで培った
協力関係を拡大

<関連市場への進出>

送信システム

(2020年迄に南米で累計1兆円)

放送コンテンツ

(番組、遠隔教育、データ放送)

ソリューション

(防災、気象、教育、交通等)

ICT分野全体 への拡大

社会的課題の解決×ICT

- 教育×ICT⇒ 遠隔教育
- 道路×ICT⇒ ITS
- 農業×ICT ⇒ トレーサビリティ
- G空間×ICT ⇒ 防災ICTシステム
- 労働×ICT⇒ テレワーク

ブラジル、スリランカ、フィリピンと
幅広いICT分野での包括的な
協力に合意

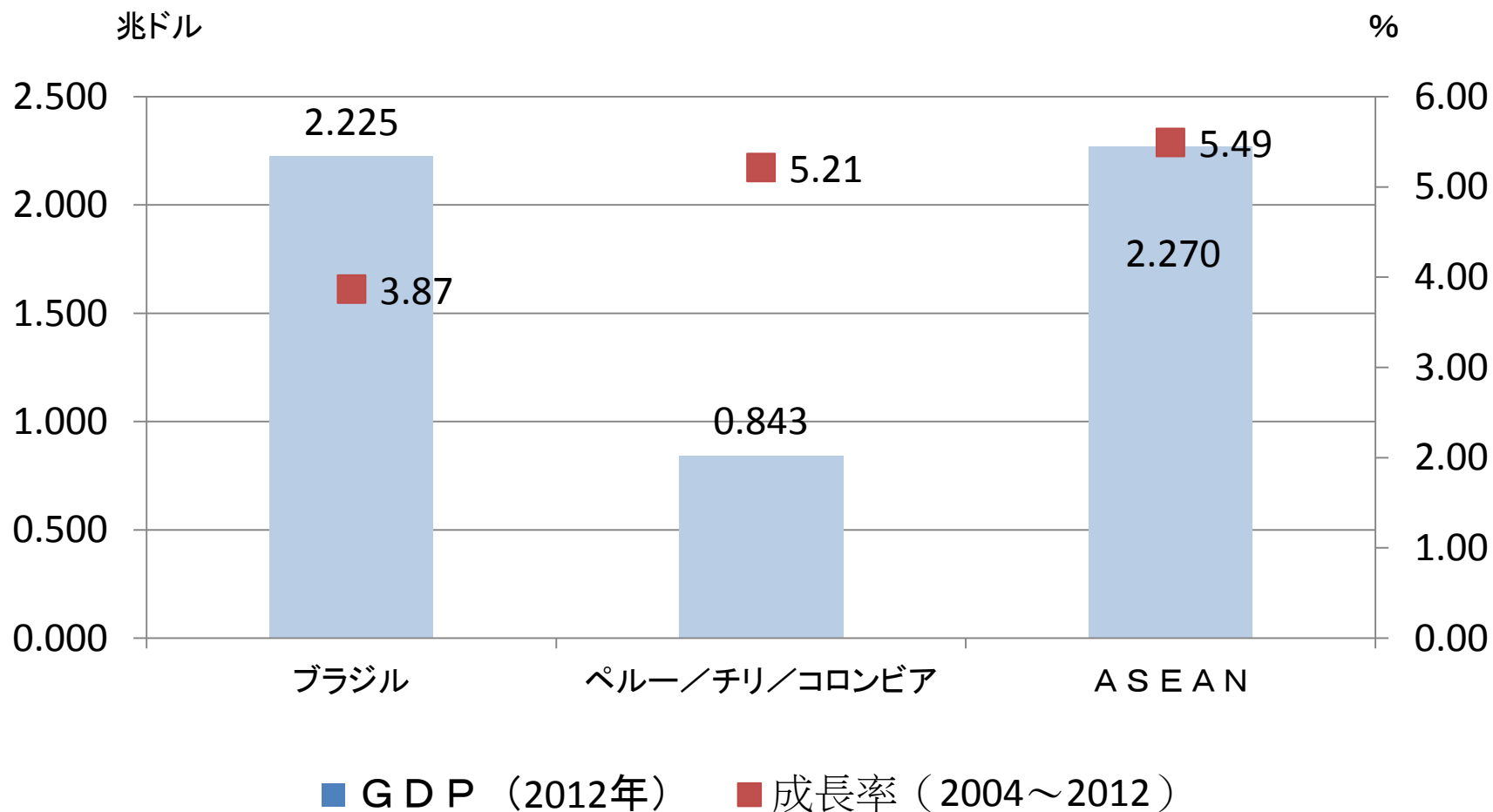
国家の安定と発展

- 格差是正
- 貧困撲滅
- 国土管理

日本を立て直し、
世界に貢献

「戦略的なODAの活用」と「積極的なトップセールス」

名目GDPとGDP成長率



出典: 世界銀行資料、ブラジル以外の成長率は期間の各国の平均成長率を2012年のGDP比率で加重平均、ASEANはGDP非公表のミャンマーを除く9カ国分

南米諸国への今後のICT展開

日本方式採用国に対する地デジ展開支援を進めつつ、ICTでの協力拡大を模索していく

1. ブラジル→社会課題解決に資する協力強化

- ・中間層拡大→社会課題を解決するためのICT利活用が進展する可能性
- ・経済規模大(1人GDP/南米GDP = 22,526億ドル(54.8%) / 41,091億ドル) 出展:2012年W B

2. 太平洋岸諸国→軸となるプロジェクトを起点に関係深化

- ・市場開放傾向(太平洋同盟のメンバー国、ペルー、チリは日本とFTA協定締結済、コロンビアは日本と投資協定締結済)
- ・成長率高(2012年GDP成長率: ペルー:6.3% チリ:5.6% コロンビア:4.0%)
- ・有望市場 (3カ国GDP/南米GDP = 8,382億ドル(20.4%) / 41,091億ドル) 出展:2012年WB
- ・共通する自然環境(太平洋に面しており山がちな地形)

主要国における取組例

ブラジル:ICT分野協力拡大

- …ブラジルで成功事例を創出し、南米諸国へ横展開(第2の地デジ日本方式化)

ペルー: 緊急警報放送(EWBS)の実用化

チリ:チリ政府による通信衛星調達

コロンビア:FTTH網の拡充の動き

新藤総務大臣ーベルナルド通信大臣間の合意 (2013年7月)

- 地デジにおける協力関係を広げ、ICT分野での協力関係を強化することに合意
 - 震災時の協力を御礼、日伯方式の展開の連携に感謝
 - アナログ停波に関し経験を共有することで合意
 - 日伯方式を活用した防災ICT、遠隔教育・医療の意義を共有
- ICTを活用した農業・インフラ管理・海洋資源探査や8K等の将来の技術に関する研究開発の協力強化に合意
 - 4k/8kのW杯、オリンピックでのデモを提案するとともにベルナルド大臣を日本に招待、同大臣は関心を表明

日伯ICT分野協力の具体化へ向けた進め方(案)

— 「日伯ICTラウンドテーブル(仮称)」の実施 —

2006年12月

ブラジルにて、地デジ日本方式を採用
(海外で初の地デジ日本方式採用)

地デジ分野で協力
(定期会合等)

2013年7月

新藤総務大臣ーベルナルド通信大臣間で、地デジ
協力強化及びICT分野への協力拡大覚書署名

2013年10月

- 日伯事務方間で、ICT分野協力拡大の覚書内容の具体化へ向け協議
- 伯でビジネス展開する日本企業との意見交換を実施

2014年

2月

ICTラウンドテーブル
(仮称)実施への調
整

- ・ブラジルの関連セ
クターと調整等

3月

【地デジ共同作
業部会】

- ・アナログ終
了への協力

5月

【ICTラウンド
テーブル】
於:サンパウロ

- ・日伯ICTフ
レームワー
クの提案

8/24-27
テレビエン
지니어リン
グ機器・
サービス技
術国際見本
市
(SET2014)

10月

ブラジル
大統領選挙

日伯ICT共同プロジェクト開始

2015年

3月

- ・共同プロジェクト
フォロー
- ・次回ラウンド
テーブル実施へ
向けた調整

5月

【ICTラウンド
テーブル】

(第2回)
※年1回ペー
スで
定例化

第一回「日伯ICTラウンドテーブル」

— Draft Agenda —

1. 場所 :

ブラジル サンパウロ市内ホテル

2. 日程 :

2014年4月25日(金)

3. 議題 :

- ①ブラジルにおけるICTの現状
- ②ブラジルにおける社会的課題を解決するICTニーズ
- ③協力が見込まれる分野
(超高精細テレビ(4K、8K)、FTTH、情報セキュリティ技術、モバイルペイメント、G空間)
- ④日伯ICT共同プロジェクト実施へ向けた今後の展望

4. 出席者 :

官民のExecutiveが参加するクローズドセミナーとして実施(予定)

日本側 : 総務省、JICA、JETRO 企業(ブラジル側の意向も考慮し決定)

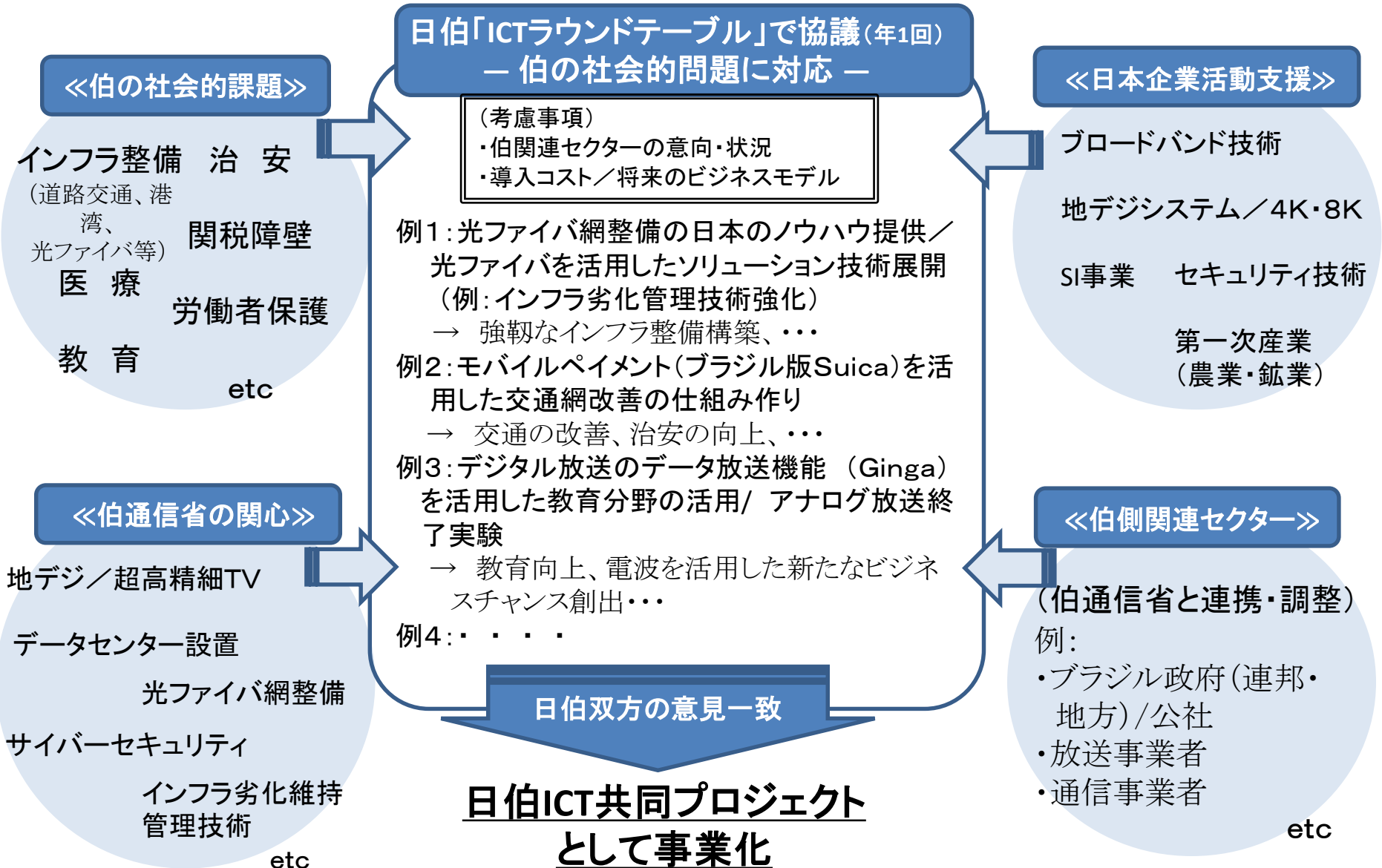
ブラジル側: 通信省、国家通信庁(ANATEL)、地方政府

テレbras、ブラジル工業連盟、放送事業者、通信事業者、大学等研究機関

6. ラウンドテーブルのアウトプット :

- ✓ 日伯ICTフレームワークの推進
伯の社会的課題解決に資する事業内容を協議し、双方合意した事業に関して「日伯ICT共同プロジェクト」として事業化
- ✓ 日伯それぞれのファイナンススキームも活用検討
- ✓ 「ICTラウンドテーブル(仮称)」の定例化(年1回ペース)

日伯ICTフレームワークのイメージ



日伯ICT共同プロジェクト支援パッケージ(案)

- 双方が合意したプロジェクトを日伯ICT共同プロジェクトとして以下の支援を通じて推進

- 財政支援

- 日伯政府によるプロジェクトに対する支援

- 官民連携支援

- JICAによる支援
(伯政府と本邦企業によるPPP事業の形成支援)

- 技術移転・人材育成

- プロジェクトに関係するVIPの招へい・視察
- プロジェクトに知見を有する専門家の紹介・派遣
- 人材育成プログラムの提供

4月に再びお会いしましょう！